

## モニタリング結果報告書

施設 設 神奈川県立かながわ労働プラザ

指定管理者 公益財団法人神奈川県労働福祉協会

施設所管課 労政福祉課

(平成 22 年度 上半期)

## 管理運営状況総括

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月19日	良好に行われていると認められる
5月	6月10日	6月18日	同上
6月	7月9日	7月16日	同上
7月	8月10日	8月19日	同上
8月	9月10日	9月17日	同上
9月	10月8日	10月20日	同上

## 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

## (1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る  B: 提案どおり  C: 提案を下回る 

## (2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

## &lt; 提案内容の概要 &gt;

- ① 総合インフォメーションを整備し、会議室の受付だけでなく、行政機関や団体の案内・受付等を一体的に行うプラザ全体の窓口にしていく。
- ② 利用を待つ姿勢から働きかけていく姿勢へと転換し、広報・PRを積極的に展開する。
- ③ 親しめる自主講座・交流の展開として、プラザの特色を明確にし、利用率の向上にもつながるように当協会のノウハウを十分に活かして、低廉な受講料で参加出来る自主講座を積極的に開催する。
- ④ 法律、条例・規則等を遵守して、平等利用を図ることを基本に、公共施設利用予約システムによる自動抽選方式を取り入れ、利用機会の透明性を確保するとともに、利用手続きやサービスの提供などの面でも公平な運営を徹底する。
- ⑤ 利用者の方に、気持ち良く使ってもらうように、施設設備を充実し、質の高い部屋を整える。音楽室については、ドラムセットの更新、また、CD・MDによる録音・再生装置等の整備をする。トレーニング室については、フィットネス器具等の更新・整備をする。

## &lt; 実施状況 &gt;

- ・ 4月 平成 21 年度に好評で受講できなかった方から要望があった「スポーツ吹矢体験講座」を開催。  
参加者数 42 名
- ・ 5月 トレーニングルーム利用者の増加により、ロッカーが足りない状況となったことから、職員用のロッカーをトレーニングルームに配備して対応。
- ・ 8月 会議室のスピーカー等に不具合が発生した際、利用者に迷惑がかからないように迅速に対応。

## &lt; 提案内容の概要 &gt;

各部屋の利用率をあげるとともに、年間 30 万人の利用者を目標とする。

## &lt; 実施状況 &gt;

平成 21 年度に引き続き多くの方の利用があり、平成 22 年度上半期は利用者数約 16 万人という実績となった。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	70,780	0	68,418	2,362	70,780	0
上半期計 (a)	37,527	0	34,514 ( 35,538)	3,013	30,103	7,424
下半期計 (b)	—	—	— ( 36,378)	—	—	—
4月	5,544	0	5,441 ( 5,685)	103	4,836	708
5月	6,524	0	5,497 ( 5,919)	1,027	3,696	2,828
6月	6,883	0	5,958 ( 6,165)	925	6,737	146
7月	6,056	0	5,986 ( 6,454)	70	5,305	751
8月	5,948	0	5,588 ( 5,509)	360	5,589	359
9月	6,569	0	6,043 ( 5,803)	526	3,938	2,631
合計 (a+b)	37,527	0	34,514	3,013	30,103	7,424

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

上半期は、修繕を実施することが少なかったため、支出額が当初よりも抑えられた。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	—	—
支出の状況	—	—
積立等の状況	—	(期首) —
		(期末) —

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

##### (会議室等)

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	161,972 人	161,950 人	0.0%
下半期計 (b)	—人	—人	—%
4月	24,550 人	25,552 人	△3.9%
5月	24,537 人	26,265 人	△6.6%
6月	28,428 人	28,868 人	△1.5%
7月	29,824 人	30,020 人	△0.7%
8月	25,864 人	23,506 人	10.0%
9月	28,769 人	27,739 人	3.7%
合計 (a+b)	161,972 人	161,950 人	0.0%

##### 利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

##### (駐車場)

	利用台数	前年同月利用台数	前年対比増減率
上半期計 (a)	8,897 台	9,276 台	△4.1%
下半期計 (b)	—台	—台	—%
4月	1,532 台	1,553 台	△1.4%
5月	1,440 台	1,545 台	△6.8%
6月	1,580 台	1,515 台	4.3%
7月	1,541 台	1,660 台	△7.2%
8月	1,212 台	1,379 台	△12.1%
9月	1,592 台	1,624 台	△2.0%
合計 (a+b)	8,897 台	9,276 台	△4.1%

##### 利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

(施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0

報告月	口頭	文書	合計
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特にトラブルもなく円滑に業務を実施した。	
職員対応	・同上	
事業内容	・同上	
その他	・同上	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
6月12日	<p>【概要】 駐車場係員が利用者の車両を機械式車庫に誘導した際、入庫途中に左前輪のホイールがターンテーブル車輪誘導溝に接触し、傷がついた。</p> <p>【対応状況等】 利用者に対し丁寧に説明の上、保険会社に対応、処理を一任した。今後は車幅、車高等の確認を徹底し、自走式駐車場へ優先的に誘導することにした。</p>
月 日	
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	—	—	—
月 日	—	—	—

## 9 上半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>平成21年度に引き続き多くの方の利用があり、平成22年度上半期は利用者数約16万人となり高い実績となった。平成22年度下半期以降もこの実績を落とすことなく勤労者のための施設としての役割を果たしていく。</p> <p>平成7年の施設開館後、15年が経過して、設備や備品等施設の老朽化が見られることから、施設の点検、修繕等を十分に行い、利用者サービスの低下につながらないよう心がけていく。</p> <p>利用者からの要望が多く出る魅力的な自主事業を実施していく。</p>
施設所管課	<p>7月に実施した利用者満足度調査において、約80%以上の利用者が満足しているとの結果が出たが、引き続き利用者のニーズに応えるとともに、広報等に様々な工夫を凝らし利用率の向上に努めてもらいたい。</p> <p>設備や備品等の老朽化は、利用者側から見ればサービスの低下と思え、利用者の減少につながることから、点検や修繕あるいは備品の更新を適宜行い、利用者サービスの低下につながらないよう努めてもらいたい。</p>